

単元名「海と川をつなぐ生き物「葛西臨海公園西なぎさ・神田川探検隊」」（20時間）

○活動のねらい

海洋実習、河川実習を通して川と海のつながりを考える。

海と川を生活圏とする生物を調べ、私たちの地域と海とのつながりを考える。

○地域との連携

新宿区役所みどり公園課・東京都葛西臨海水族園

○実施内容

次	学習活動	学習の様子
1 総合	<p>葛西臨海公園海洋実習</p> <ul style="list-style-type: none"> 海洋実習（岩場、干潟の観察実習）を通して海の生き物の様子を学び、海への興味、関心を高める。（4,5,6年共通） 岩場、干潟の生物の採集を行い、学校に設置してあるミニ水族館で飼育を行い、継続的に観察する。  <p>（ミニ水族館）</p>	 <ul style="list-style-type: none"> 学芸員の先生方から干潟の生物の豊かさや干潟の役割について学ぶ。 学校で飼育する生き物の観察、採集を行う。
2 総合	<p>神田川生物調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 神田川に生息している生物の採集を行い、海の生物との共通点や相違点を比べ、海と川の間をつなぐつながりを考える。 神田川に生息している生物の採集を行い、学校に設置してあるの海洋水族館で飼育を行い、継続的に観察する。  <p>（ミニ水族館）</p>	 <ul style="list-style-type: none"> みどり公園課の職員の方から、生き物の採集の仕方を伺い、学校で飼育する生き物の観察、採集を行う。
3 国語	<p>海と川を生活圏とするうなぎの一生を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語科「うなぎのなぞを追って」を学習する。海と川をつなぐ生き物という観点で海と川の間をつなぐつながりを考える。 	  
4 総合	<p>グループに分かれて学習のまとめを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとにテーマを決め、学習のまとめを行う。 学習報告会を行う。 	 <ul style="list-style-type: none"> 姉妹校の児童に調査の結果や川と海の間をつなぐつながりや海の役割について伝える。
<p>参考文献・教材等 国語4年教科書「うなぎのなぞを追って」光村図書</p>		

単元名「日本の海の未来「豊かな日本の海?・日本の海は危機?」(5, 6年)(20時間)

○活動のねらい

・日本の海の豊かさと日本の海の危機という相反する課題を迫及する中で、海洋開発、海洋保護という観点から海の現状を考え、日本の海の未来について考える。

○地域、関係団体との連携

東京都葛西臨海水族園, JAMSTEC横須賀本部

○実施内容

次	学習活動(5年)	学習活動(6年)
1	海洋実習を通して海の生き物の様子を学び、海への興味、関心を高める。(4, 5, 6年共通) (磯、干潟の観察実習)	
2	(5年) 日本の海の豊かさ(海底資源、海洋資源)についての資料を読む。 (6年) 日本の海の危機(水産資源)についての資料を読む。 (5, 6年合同) 5, 6年混合のグループを作り、日本の海の現状について考えた事を交流する。	
3	<p>海の豊かさの現状と未来を調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家(JAMSTEC横須賀本部)による海洋開発の話聞き、研究所見学を目当てを立てる。  <ul style="list-style-type: none"> ・JAMSTEC横須賀本部を見学し、海洋開発の現状と未来を調べる。   <ul style="list-style-type: none"> ・調査の結果をまとめ、総合海洋会議に向けて、発表原稿やプレゼン資料を作成する。 (海の豊かさを背景とした海洋開発推進の立場で行う。) 	<p>海の危機の現状と未来を調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの暮らしと海や海産物とのつながり、現状を考える。 (魚介類の漢字を選び、私たちとのつながりを衣食住や伝統文化とのつながりから調べる) ・江戸の魚食文化と現在の魚食文化との比較、日本の伝統食等を原材料となる海産物の現状から考える。(江戸前寿司・てんぷら・醤油・魚醤・だし等) ・調査の結果をまとめ、総合海洋会議に向けて、発表原稿やプレゼン資料を作成する。 (海の危機を背景とした海洋保護の立場で行う。)  
4	<p>総合海洋会議を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(5, 6年合同) 総合海洋会議を行い海洋の未来と私たちの行動目標を考える。 (会議を行う中で開発と保護の相反する主張に触れ、解決策を考える過程を通して、開発と保護のバランスを考えた結論を考える。) ・海洋の未来への提言を行う。 	
<p>参考文献・教材等 (5年)「日本の海はなぜ豊かなのか 北里 洋 岩波書店」「日本は世界4位の海洋大国 山田吉彦 講談社」 (6年)「魚が食べられなくなる日 勝川俊雄 小学館」「海洋大異変 山本智之 朝日新聞出版」</p>		

4年生「海と川をつなぐ生き物・葛西臨海公園西なぎさ・神田川探検隊」

○活動のねらい

(1) 海洋実習、河川実習を通して川と海のつながりを考える。

(2) 海と川を生活圏とする生物を調べ、私たちの地域と海とのつながりを考える。

○5月～3月

○関連 理科、社会科、国語科

○地域との連携

新宿区役所みどり公園課(河川実習)

東京都葛西臨海水族園(海洋実習)

海に触れる

葛西臨海公園海洋実習

- 海洋実習(岩場,干潟の観察実習)を通して海の生き物の様子を学び、海への興味、関心を高める。(4,5,6年共通)
- 岩場、干潟の生物の採集を行い、学校に設置してあるミニ水族館で飼育を行い、継続的に観察する。

河川環境を知る

神田川生物調査

- 神田川に生息している生物の採集を行い、海の生物との共通点や相違点を比べ、海と川をつながりを考える。
- 神田川に生息している生物の採集を行い、学校に設置してある海洋水族館で飼育を行い、継続的に観察する。

グループに分かれて学習のまとめをする。

- グループごとにテーマを決め、学習のまとめを行う。
- 学習報告会を行う。

5,6年生「日本の海の未来」豊かな日本の海？・日本の海は危機？」

○活動のねらい

・日本の海の豊かさや日本の海の危機という相反する課題を追及する中で、海洋開発、海洋保護という観点から海の現状を考え、日本の海の未来について考える。

○地域、関係団体との連携

○5月～3月

○関連 理科、社会科、国語科

○地域との連携

東京都葛西臨海水族園(海洋実習)

JAMSTEC横須賀本部

(見学・出前授業)

